



一般社団法人インプラント再建歯学研究会

(IIRD : Institute of Implant Reconstructive Dentistry)

手厚いサポートと会員どうしのつながりで楽しくインプラント治療の技術・知識を向上

大塚保光 (Yasumitsu Otsuka) 栃木県開業：おおか歯科クリニック
インプラント再建歯学研究会広報担当理事

設立経緯と理念

インプラント再建歯学研究会は、2009年に(公社)日本口腔インプラント学会認定研修施設として開設した。もともとは異なる研修施設に所属していた歯科医師たちが、より自由闊達に、気軽にインプラント臨床の技術、知識を向上できる場を求め集まつたことが始まりである。そのため、ルールは存在するものの制約は少なく、会員どうしは同じ志を持った仲間として研鑽に励み、和気藹々とした雰囲気が特徴となっている。

「安心で安全なインプラント治療をめざし、会員の扶助と専門医の育成、科学的根拠に基づいた正しい治療情報を共有し、他団体との交流を通じて社会に貢献できる歯科医師たちの学びの場を提供したい」との理念のもと、臨床技術、知識向上の研鑽を目的に活動している。

現在の活動・教育

もっとも大きな活動は毎年開講している認定講習会である。認定講習会では、大学

教授陣・著名臨床家を中心に、幅広い分野のレクチャー・実習を用意し、これからインプラント治療を学ぼうという方から、専門医を目指す方、知識の更新を図りたい方まで幅広く対応している。また、毎年カリキュラムの検討を行い、内容を刷新している。

研修は、受講される先生方の利便性に配慮し「東京駅・八重洲中央口から地下道で徒歩3分」というアクセス抜群の会場を用意し、開催日も日曜、祝日のみとしている。

認定講習会の受講は学会認定資格取得の必須要件の1つとなっているが、その後の専修医・専門医取得へ向けた試験対策にも力を注いでいる。担当理事を中心に、症例の選択、プレゼンテーションの実習、過去の試験内容の提供など、きめ細やかなサポート体制を整えている。その結果、2013~2019年の間に36名をケースプレゼンテーション試験の合格へ導くことができた。当施設では、すでに会員の3分の1が、学会認定資格を取得している。

また、認定講習会や資格取得だけでなく、会員向けに施設内研修会、特別講演も年に数回開催し、その後の懇親会などを通じ会員間の交流ができる環境も整えている。

今後の目指す方向性と展望

講演会などの活動はどうしても東京での開催になってしまふため、IT技術を活用し、居住地に関係なく会員どうしが活発に交流できる方法を整えたいと考えている。学術的分野としては、会員による学会発表のサポート、歯周病や咬合、根管治療などインプラント以外の分野の講演やセミナー、分科会の発足なども準備している。残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度企画されていたものは延期となってしまったが、今後も海外の医療機関の視察、学会への参加、現地歯科医師との交流などの海外研修を予定している。

興味ある皆様の参加を心よりお待ちしています。楽しみながら上を目指しましょう。

▼インプラント再建歯学研究会の概要

設立：2009年 理事長：八木原淳史

会員数：約200名(学会指導医7名、専門医34名、専修医27名)

連絡先：〒410-0007 静岡県沼津市西沢田

332 インプラント再建歯学研究会事務局

TEL：055-927-2107



2019年度修了式にて記念撮影。



豚頭実習の様子。